

令和3年度 全国学力・学習状況調査について、結果概要がまとまりましたのでお知らせいたします。

**【調査の概要】**

- 調査実施日 令和3年5月27日(木)
- 調査の目的
  - ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る
  - ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる
  - ◇そのような取組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する
- 調査内容
  - ①教科に関する調査(小学校:国語、算数 中学校:国語、数学)
    - 主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う
  - ②学習意欲、学習方法、学習環境や生活習慣に関する児童生徒質問紙調査及び学校における指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査
- 調査参加者 小学校10校の6年生668人、中学校5校の3年生635人

**【調査結果の概要】**

※令和元年度調査より、従来のA問題・B問題という区分を見直し、知識・活用を一体的に問う調査問題に変更された。令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業のため、本調査は行われなかった。

○小学校の対全国比は、国語で大きく改善され全国平均と同程度になった。算数は令和元年度と同程度の値であった。中学校の対全国比は、国語で微減した。数学では、大きく改善され全国平均との差が縮まった。

○小学校の正答数分布は、国語では全国平均並み、算数については中位層から低位層の割合が多い。中学校では、国語・数学ともに高位層が少ない。数学では低位層から中位層の割合が多い。

○小中学校ともに、授業の中でICTの活用をしている割合が多く、全国を大きく上回っている。

○小中学校ともに、課題解決に向けて自分から取り組む割合が、府平均を超え全国並みとなった。

○小中学校ともに、地域や社会をよくするために何をすべきか考える割合が、令和元年度よりも増加した。

**【今後の取組み】**

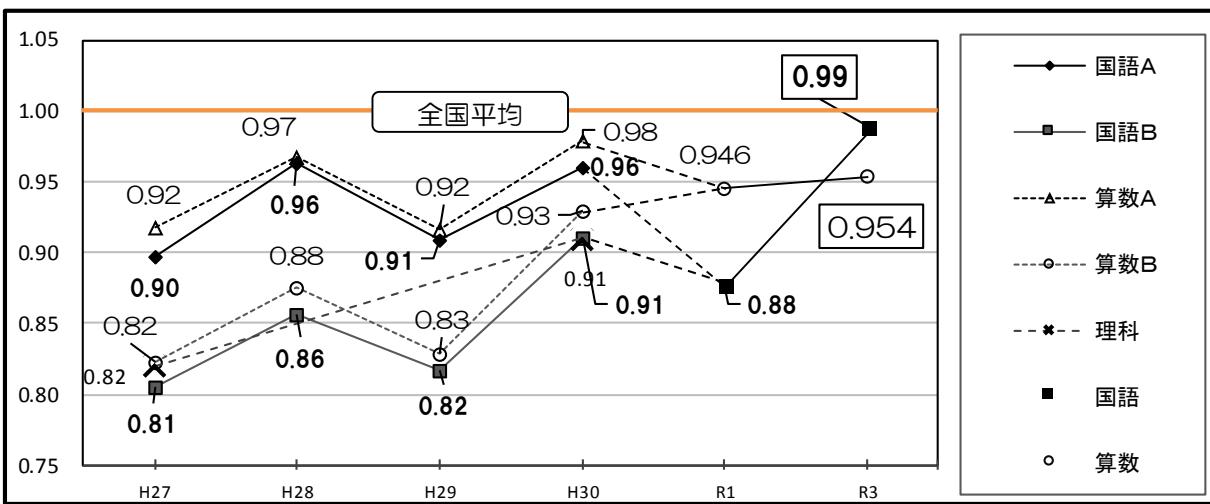
各校では、本調査の結果及び分析結果を保護者等へお知らせするとともに、各校で作成した学力向上プランに基づいた授業改善を中心とした学力向上の取組みを学校全体で行ってまいります。教育委員会では、指導主事を各校に派遣し、授業や取組みへの指導助言、教育委員会主催の教員研修等の充実を通して、各校の授業改善、学力向上の取組みを支援してまいります。

**【学力の向上が見られた学校の取組み】**

- ・児童生徒と学習計画や授業の目的、目標を共有することで、見通しを持たせた授業づくりや話し合い活動、相互評価を組み込み、互いの良いところを認め合うことができる授業づくりを行う。
- ・タブレット端末やプロジェクターなどのICT機器を効果的に活用し、児童生徒の学習意欲の向上を意識した内容となるような授業づくりを行う。
- ・学習状況だけでなく、学校生活全般の主体的な行動に焦点を当て、当たり前のことを当たり前に取り組む児童生徒を認めることで自己肯定感や自己有用感を高める取組みを継続的に行う。
- ・教員全員が休憩時間等を児童生徒とともに過ごし、人間関係を築くことや様子を見守り未然にトラブルを防ぐことで落ち着いて授業に迎えるための環境整備を行う。
- ・児童会・生徒会活動を中心に児童生徒の主体性が発揮できる場を広げ、学校運営に参画するなどの取組みを行う。
- ・学校全体で教員が日々の授業を見合い教科の指導方法や発言のポイントなどを具体的にアドバイスし合うことで、日々の指導力向上を図る相互授業参観の取組みを行う。
- ・中学校区内の学校間で研究授業及び公開授業を相互に参加し合い、児童生徒につけたい力や学力向上の取組みを共有し、小中学校での9年間を見据えた学力向上の取組みを行う。

教育委員会では、このような学校の取組みを好事例として、市内の各学校にその意義・目的とあわせて普及させることで、市内全体の児童生徒の学習意欲の向上を図り、学力向上に努めてまいります。

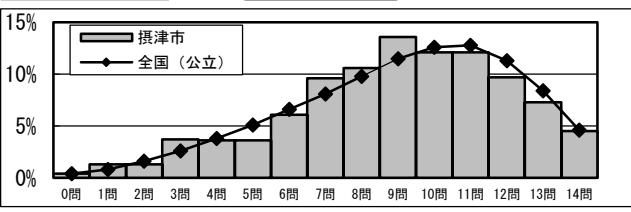
**小学校 対全国平均比経年比較** ※対全国平均比は、全国平均の数値を1としたときの摂津市の値を表します。



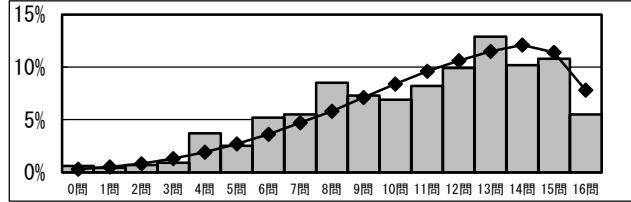
**平均正答率**

	令和3年度	
	国語	算数
全国	64.7	70.2
大阪府	63	70
摂津市	64	67
対全国比	0.99	0.95

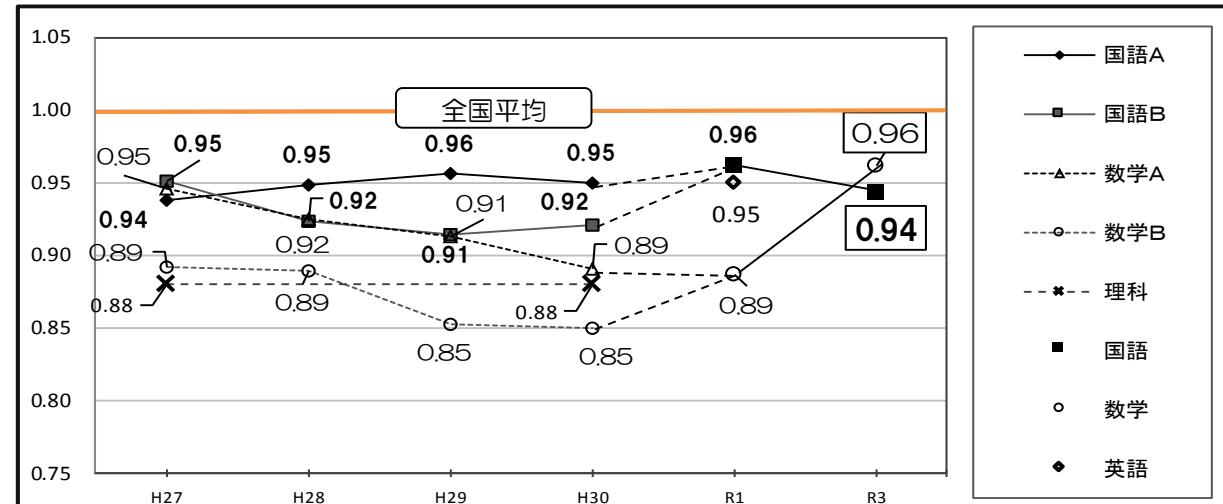
**正答数分布 小学校国語**



**正答数分布 小学校算数**



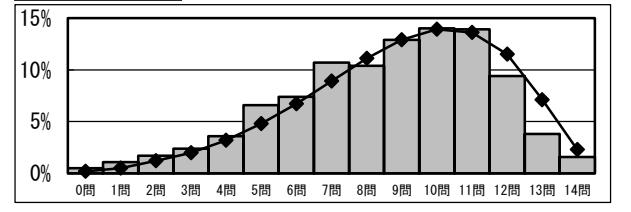
**中学校 対全国平均比経年比較** ※対全国平均比は、全国平均の数値を1としたときの摂津市の値を表します。



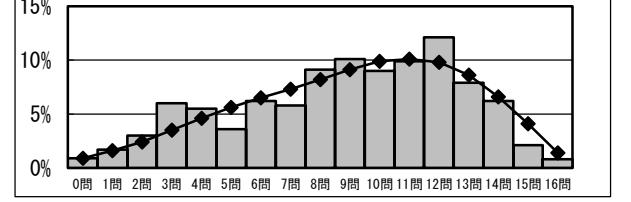
**平均正答率**

	令和3年度	
	国語	数学
全国	64.6	57.2
大阪府	62	56
摂津市	61	55
対全国比	0.94	0.96

**正答数分布 中学校国語**

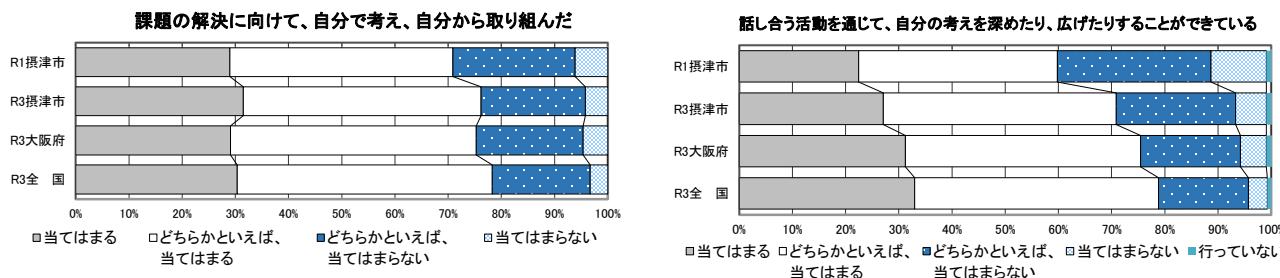


**正答数分布 中学校数学**

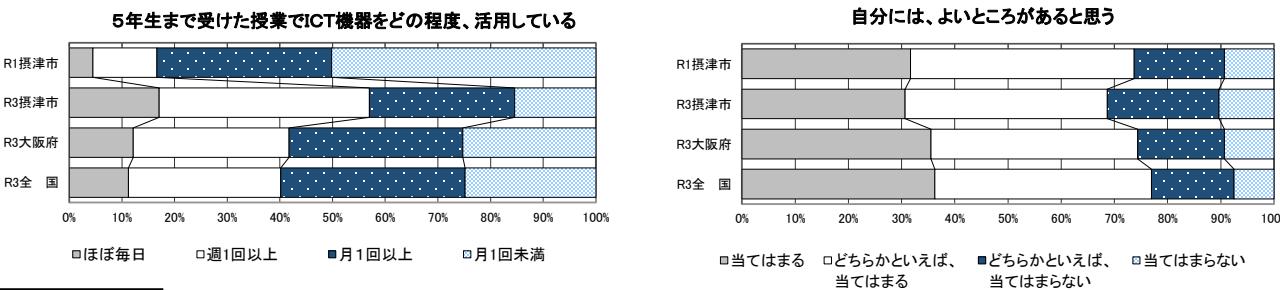


小学校

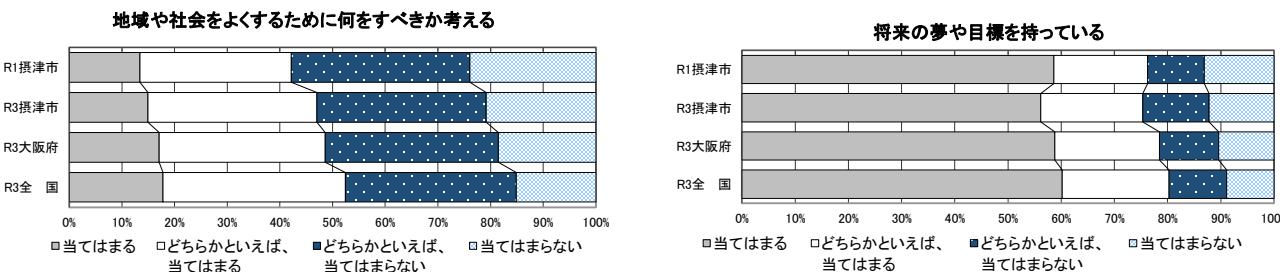
学びに向かう姿 「自分で考え、自分から取り組んだ児童」、「話し合う活動を通じて、深め、広げた児童」の強い肯定の割合は令和元年度より増加



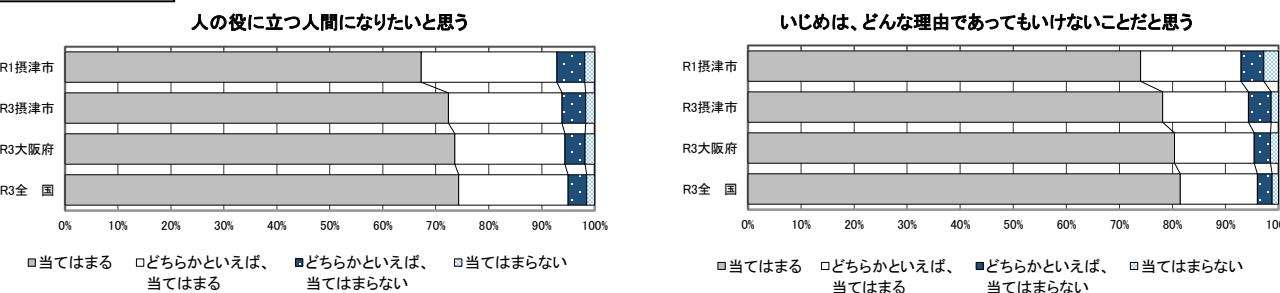
ICT活用／自尊感情 「授業でICT機器の使用した程度」の割合は、全国平均を大きく上回り、令和元年度よりも増加 「自分にはよいところがあると思う児童」の割合は、令和元年度より減少



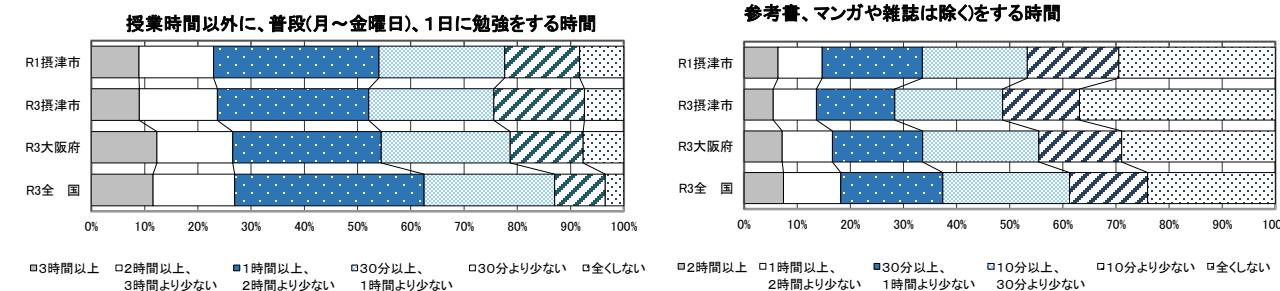
キャリア教育 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える児童」の割合は、令和元年度より増加 「将来の夢や目標を持っている児童」の割合は元年度より減少



豊かな人間性 「人の役に立つ人間になりたいと思う児童」の強い肯定の割合は令和元年度より増加

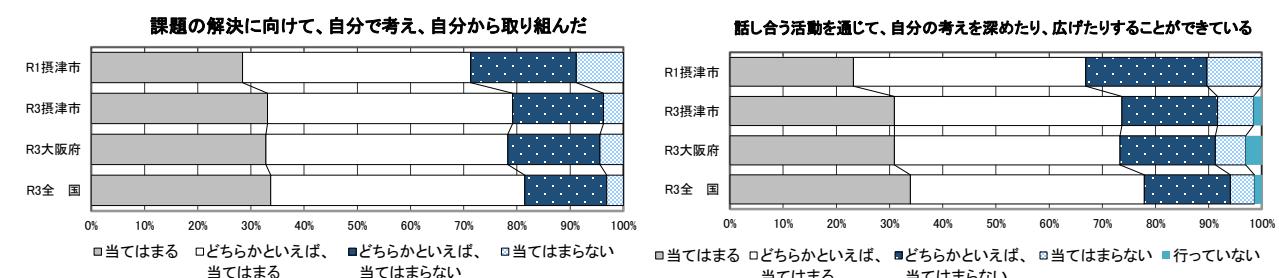


学習習慣／読書量 「家庭学習を全くしない児童」の割合は、令和元年度より微減、読書を全くしない割合は増加

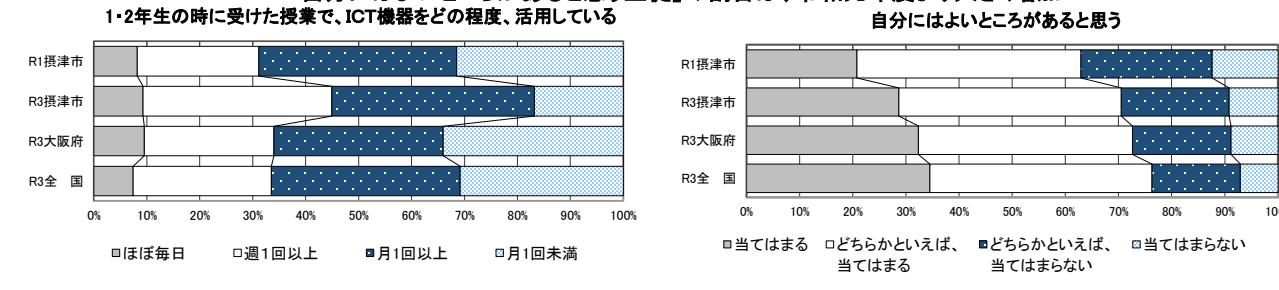


中学校

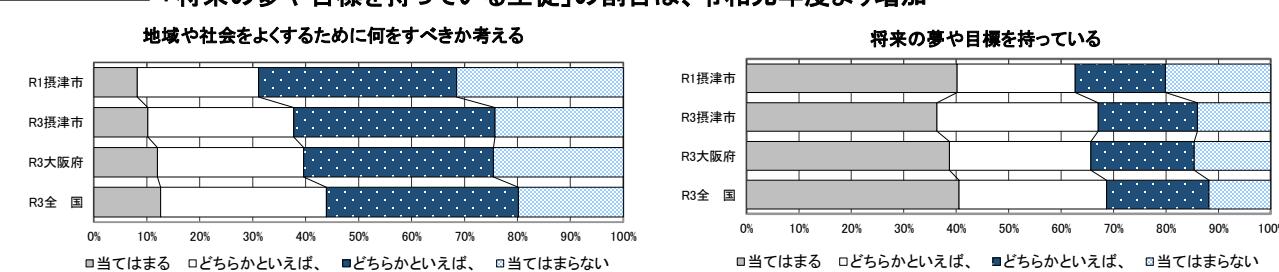
学びに向かう姿 「自分で考え、自分から取り組んだ生徒」、「話し合う活動を通じて、深め、広げた生徒」の割合は、強い肯定の割合が令和元年度より増加



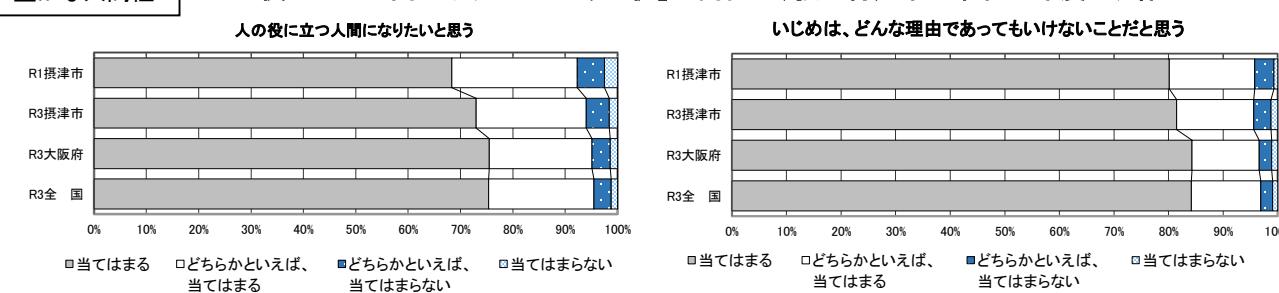
ICT活用／自尊感情 「授業でICT機器の使用した程度」の割合は、全国平均を大きく上回り、令和元年度よりも増加 「自分にはよいところがあると思う生徒」の割合は、令和元年度より大きく増加



キャリア教育 「地域や社会をよくするために何をすべきか考える生徒」の割合は、令和元年度より増加 「将来の夢や目標を持っている生徒」の割合は、令和元年度より増加



豊かな人間性 「人の役に立つ人間になりたいと思う生徒」の割合は、強い肯定率が令和元年度より増加



学習習慣／読書量 「家庭学習を全くしない生徒」の割合は、令和元年度より微減、読書を全くしない割合は増加

